

大地震でも大丈夫？ 原子力発電所の事故は絶対にイヤ!

発電所
のはなし



何重にも対策を施し、
世界最高水準の安全な発電所をめざしています。



静岡県ゆかりの武将、徳川家康が
鉄砲隊、歩兵、騎馬隊を駆使して何重にも
守りを堅め、天下統一を果たしたように、
浜岡原子力発電所もさまざまな対策を
何重にも採り入れた安全対策を行っています。

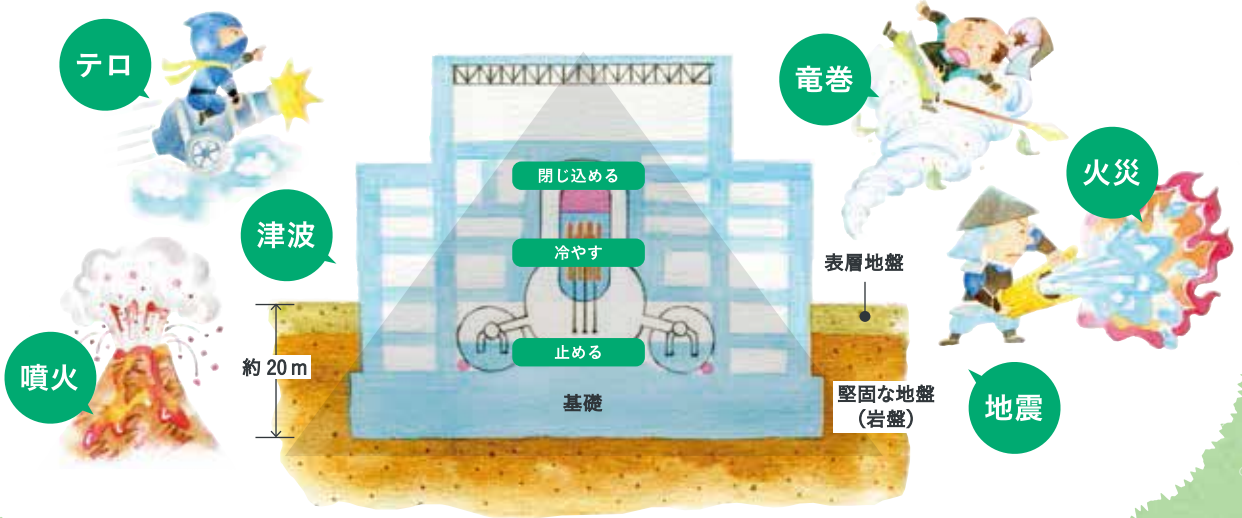
「安全対策、重ねよう!」



災害っていろいろあるけど、備えてる？

地震、竜巻、噴火などを想定してしっかり対策しています！

浜岡原子力発電所の心臓部である原子炉建屋の基礎は強固な岩盤に直接設置。
内部は強い地震の揺れを想定したピラミッド型の安定した構造になっています。
もちろん、心配されている富士山の噴火や竜巻など多様な災害に対応する備えも施しています。



やっぱり津波が心配…

津波による被害を防ぐ防波壁や水密扉のほか、災害時を想定した訓練も継続しています。

原子力発電所にとって津波は大敵。浜岡原子力発電所では、福島での事故を教訓に強固な安全対策を採り入れた改修工事と訓練を行っています。

万が一、敷地内に水が入った場合でも、建屋内までは水が到達しないよう水密扉が守ります。

△△、特川城より高いを

高さは海拔 22m。想定される最大クラスの津波が来ても敷地内への水の浸入を防ぎます。



防波壁

水密扉



訓練



災害時の初動から事故の収束にいたる対応能力を高めるため、継続的な訓練をおこなっています。

ハードもソフトも万全をめざして！